

# 第6685回QCサークル体験事例発表会

## QC活動悩み事アンケートQ&A集

---

QCサークル北陸支部福井地区

2025年12月25日

# Q.全員参加が難しい。

---

A.全員参加には改善活動への参加と会合の参加がありますが、改善活動への参加については

- ①まずメンバーのQCサークル活動の経験や知識に応じた役割を割りを当ててください。  
知識が足りない場合は、教育を行うなどのサポートを行うことにより参加への意識を高めることができます。
- ②活動テーマはメンバー全員が共有できているかを確認してください  
特に自分の業務に関連している場合は、活動への意識も高くなります。  
また、業務が異なる場合は全員で現場確認を行い業務の理解を行って、参加しやすい状態にしてください。

次に会合への参加についてですが

- ①メンバーが都合の良い日や時間を設定する
- ②会合時に次回の会合日を決めておく
- ③事前にメンバーに意見を聞いておく
- ④次回会合までの役割を与えておく
- ⑤どうしても参加できない場合は、後日会合の議事録により共有を図り、場合によっては意見、コメントを求めるように工夫する  
などが有効だと思います。

# Q.各チームの温度差が大きい。

---

A.活動が低迷しているチームには、上司が進んで関りを保つように心がけてください。

各QCステップ毎に関わることが理想ですが、最低でも初期・中間期・完了期に参加し 必要なアドバイスをすることによりサークルメンバーの意識も高まってくると思います。

また、活性化しているサークルと低迷サークルの交流を図ることも気づきが図られ有効だと思います。

サークルメンバーの経験などでチームにより活動にレベル差が発生しますが、チームレベルに応じ、少し背伸びが出来るアドバイスを行うことも、上司、推進委員の重要な役割となります。

## Q.サークルメンバーに知識やモチベーションがない場合、どのようなアプローチをリーダーや推進委員がすれば良いか知りたい。

---

A.メンバーが意欲をもって活動するときは以下のような時が考えられます。

- ①QCサークル活動の目標が明確に示されているとき
- ②自分たちのQCサークル活動が上司から期待されていると感じるとき
- ③新しい目標(課題)にチャレンジしているとき
- ④QCサークル活動を通じて自分が成長していると感じるとき
- ⑤自分たちのQCサークル活動が課方針等に貢献しているとき
- ⑥前工程、後工程など関連部署から信頼され評価されているとき
- ⑦自分たちの行っているQCサークル活動の重要性が認識できるとき
- ⑧自分たちのQCサークル活動の内容がよく理解できていると感じるとき
- ⑨QCサークル活動の結果だけでなくプロセスも評価されたとき
- ⑩職場にチームワークがあるとき

上記項目を意識しながらメンバーにアドバイスするように心がけてください。

知識を深めるためには、サークル内で勉強会を行うか、社内のQC研修会に参加するなどして知識向上を図ってください。

特に感心が薄いメンバーには、身近なテーマで自分が樂になる、楽しく活動が出来るよう上司が意識しすることも必要です。

推進委員の力量向上については、現在福井地区の研修会で推進者研修会を1回／年開催していますので、そこに参加していただくとスキルアップにつながると思います。

Q.サークル員が少ない場合(1名若しくは2名)、サークル活動として該当するのか？

チームは色々な部署から結集したチームで課題達成型を解決していく方法でも、成立するのか？

---

A.サークル活動は、5～10名が理想的です。人数が少ないと意見交換がしやすくなり全員が発言できる環境を作りやすくなりますが視点が偏りやすくなり、アイデアも出にくくなりますので5名は必要だと思います。逆に多すぎると意見がまとまりにくくなったり、発言をしない人が出てきたりしますので10名までが望ましいです。

いろいろな部署で結成したサークルは、部署ごとの知識が結集されますので相乗効果が生まれやすくなり課題達成型を解決するには有効的だと思います。

同じ業務もメンバーのみでチームを組むと1人、2人となる可能性がありますが異なる作業者でメンバーを組、新たな視点、考えで問題点を考えることも有効な活動となる場合があります。

Q.事務部門なのですがテーマ選定に困っています。  
正直職場の困りごとや課題と言っても全く出て来ません。  
もっと違った考え方でテーマを見つけることはできますか？

---

A.職場の困りごとや課題が出てこないというのは、メンバー共通のテーマを選定しようとしていませんか？

事技系の部署は、業務が個人に付いてくるので属人化する傾向にありますので、まずはメンバー一人ひとりに困っている問題はないか確認すると、いろいろな問題が出てくるはずです。その中からサークルとして共通なテーマを選ぶか、個人の問題でもメンバーが協力し合って解決すればチームワークも向上し、各メンバーのスキルや意欲も向上すると思います。以下に参考例を紹介します。

- ①仕事がしにくい、疲れる、痛いなど体で感じる問題のテーマ
- ②五感などでいつも違うと感じる問題のテーマ
- ③職場の5Sを取り上げたテーマ
- ④他部署に迷惑をかけている問題のテーマ
- ⑤自分が困っている問題のテーマ

# Q.サークル活動をするための時間が取りにくい時、どのように取り組んで行くべきか。

---

A.サークル活動は、分担して行うことと、話し合って決めていくことがあります、分担して行うことは、各メンバーに役割分担して個人個人が活動するための時間を見つけて行うため多少時間は取りやすくなりますが、話し合いで決めていく時間(会合)は、全員が集まらないと決められないこともあるため、時間は限られてくると思います。

そのような場合は、まずは上司に相談して時間を取っていただくか、関連部署が関わる場合は上司に交渉していただくことが必要になると思います。

できれば、部署内で〇〇日とか〇曜日とか定期的に開催する日や曜日を決めると進めやすくなると思います。また、会社全体で日にちや曜日を設定すると関連部署にも迷惑がからないと思いますので、事務局に相談していただくといいと思います。

# Q.他国籍の方にも参加してほしいが言葉の壁がありうまく参加できていない。

---

A.他国籍の方に参加してもらうには、通訳者に同行していただくのが、通訳機を利用するといったことが考えられますが、通訳者の人数の対応やスムーズに進められないことが出てきて時間が掛かってしまうなどの問題が起きると思います。

少しでも理解していただくために他国籍者向けに勉強会を開催することがひとつだと思います。またできるのであれば、国籍別にサークルを結成して活動していただくのも有効だと思います。

Q.自社の状況は、今回発表参加した代表サークルのような活躍はごく一部で、ほとんどのサークルが低迷しているので、底上げもしていきたい。

---

A.サークル活動の底上げを推進していくことは非常に重要な課題です。なぜ低迷しているのかの現状分析を行い、問題に対する改善を継続的に進めて行くことが必要です。

同じ思いを持った推進委員、指導者と協力して底上げを進めて行ってください。内容によっては、上司、事務局へ相談し協力を得てください。

Q.自社でもQC活動を行っていますが、生産優先になってしまい後手後手になってしまいます。  
また、テーマ選定からのストーリー組み立てにも躊躇ってしまいます。  
何か良い方法はないでしょうか。

---

A.日々の生産計画に基づいて生産していますので、どうしても生産優先になってしまいがちです。  
そういった場合は、QCサークル活動の時間を計画に盛り込んでいただくように上司や計画部署に依頼すると活動がしやすくなると思います。  
日にちや曜日など定期的に実施できるように上司に相談してみて下さい。

QCストーリーは7ステップを基本に活動できるように設定されています。  
どのステップで躊躇しているかをQCストーリーの進め方に基づいて、再度確認していただき、それでもわからない場合は上司や事務局に相談してください。

## Q.納期などの問題で現場が最優先となるのでメンバーがタイムリーに活動に参加出来ない場合があります

---

A.突発的な問題は、現場ではよくあることです。そのような場合は、問題が解決してから活動を再開するか、活動ができるメンバーで進めていくのも必要だと思います。

また問題そのものをQCのテーマに取り上げることも考えられると思います。既に進んであるテーマについては中断するかも含めて上司に相談してみてください。